



## 都立高でキャラバン 戦略広報 推進協 建設業の魅力伝える

国土交通省や建設業団体などで構成する「建設産業戦略的広報推進協議会」は4月27日、東京都江戸川区の都立葛西工業高校で入職につながる情報を発信するキャラバンを行った。写真、建築科2年生39人（うち女性3人）が参加した。建設業

振興基金の松縄修主任が建設産業の現状や建設工事に多くの人が関わることを説明。JM（東京都千代田区、大竹弘孝社長）の中屋建二マークティンク本部長が建設工事の流れや職種、やりがいなどについて語った。

参加した生徒にアンケートを実施した結果、「建設業のイメージが良い」が87%、「将来建設業で働きたい」が68%となった。働きたい理由として「人のためになる仕事でかつこい」 「父親が建設業の仕事をしている」 「給料が良い」などが挙げられた。

工業高校のキャラバンは6校目、小・中学校を含めて通算9校目となる。16年度は計5回のキャラバンを予定。普通科や商業科の高校、地方の学校など対象を広げていきたい考えだ。